

第1 少年非行等の概要

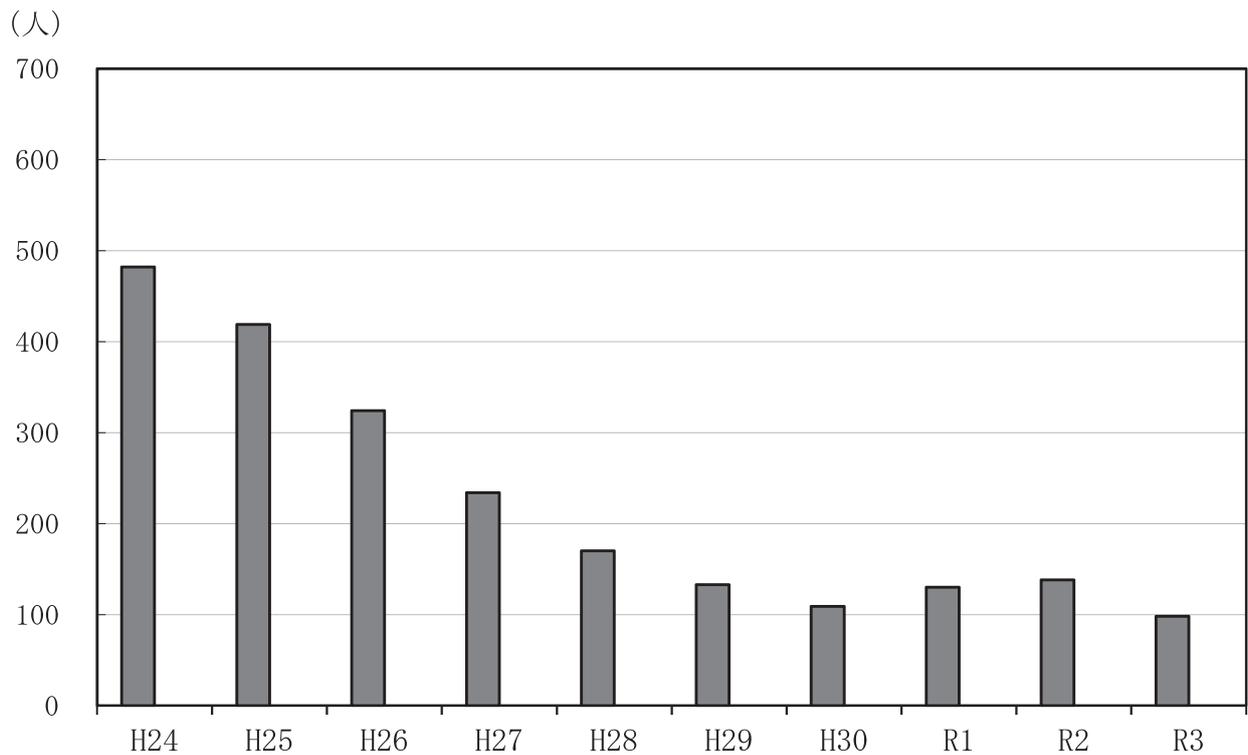
1 非行少年の概況

過去10年間の非行少年の検挙・補導人員の推移は、下表のとおりである。

令和3年中の非行少年は98人で、前年より40人（29.0%）減少した。

令和3年の非行少年のうち、犯罪少年は74人と前年より27人（26.7%）減少し、触法少年は24人と前年より11人（31.4%）減少した。

また、ぐ犯少年は、前年より2人（100%）減少した。



区 分		年										
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
非 行 少 年	犯 罪 少 年	刑 法 犯	357	309	247	169	114	80	78	84	94	65
		特 別 法 犯	7	28	17	12	12	15	9	19	7	9
		小 計	364	337	264	181	126	95	87	103	101	74
	触 法 少 年	刑 法 犯	115	75	50	49	42	31	18	15	33	22
		特 別 法 犯	3	6	10	3	1	7	4	8	2	2
		小 計	118	81	60	52	43	38	22	23	35	24
	ぐ 犯 少 年		1		1	1			4	2		
	総 数		482	419	324	234	170	133	109	130	138	98

(1) 非行少年の罪種別・法令別

令和2年及び令和3年の非行少年の罪種別・法令別構成は、下表のとおりである。

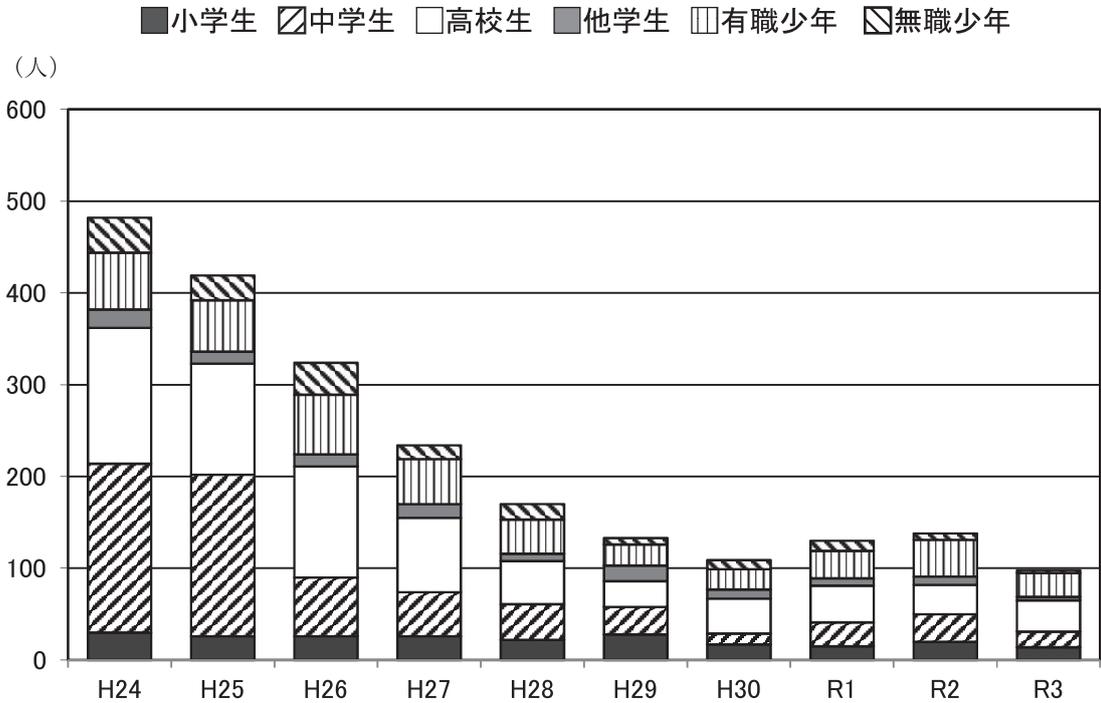
年別 区分 罪種・法令		非行少年																
		犯罪少年				触法少年				ぐ犯少年								
		R3	R2	増減		R3	R2	増減		R3	R2	増減						
		人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)					
総数		98	138	▲40	▲29.0	74	101	▲27	▲26.7	24	35	▲11	▲31.4		2	▲2	▲100.0	
刑 法 犯	殺人																	
	強盗																	
	放火																	
	強制性交等																	
	小計																	
	暴行	11	13	▲2	▲15.4	11	13	▲2	▲15.4									
	傷害	5	7	▲2	▲28.6	5	7	▲2	▲28.6									
	脅迫																	
	恐喝	3	1	2	200.0	1	1			2		2	∞					
	小計	19	21	▲2	▲9.5	17	21	▲4	▲19.0	2		2	∞					
	窃盗	46	65	▲19	▲29.2	33	37	▲4	▲10.8	13	28	▲15	▲53.6					
	詐欺		6	▲6	▲100.0		6	▲6	▲100.0									
	横領																	
	その他																	
	小計		6	▲6	▲100.0		6	▲6	▲100.0									
	賭博																	
	強制わいせつ	3	4	▲1	▲25.0	1	4	▲3	▲75.0	2		2	∞					
	公然わいせつ		1	▲1	▲100.0		1	▲1	▲100.0									
	小計	3	5	▲2	▲40.0	1	5	▲4	▲80.0	2		2	∞					
	占有離脱物横領	5	10	▲5	▲50.0	5	9	▲4	▲44.4		1	▲1	▲100.0					
その他	14	20	▲6	▲30.0	9	16	▲7	▲43.8	5	4	1	25.0						
小計	19	30	▲11	▲36.6	14	25	▲11	▲44.0	5	5								
合計	87	127	▲40	▲31.5	65	94	▲29	▲30.9	22	33	▲11	▲33.3						
軽犯罪法	3	2	1	50.0	1		1	∞	2	2								
迷惑防止条例	3	1	2	200.0	3	1	2	200.0										
風営適正化法																		
青少年愛護条例																		
銃刀法		2	▲2	▲100.0		2	▲2	▲100.0										
覚せい剤取締法																		
毒劇法																		
児童買春・ポルノ法																		
児童福祉法																		
その他	5	4	1	25.0	5	4	1	25.0										
合計	11	9	2	22.2	9	7	2	28.6	2	2								

注) ▲は減少を示す

(2) 非行少年の学職別

過去10年間の非行少年の学職別構成の推移は、下表のとおりである。

令和3年の非行少年の学職別構成は、高校生が34人（構成比34.7%）と最も多く、次いで有職少年が26人（構成比26.5%）であった。



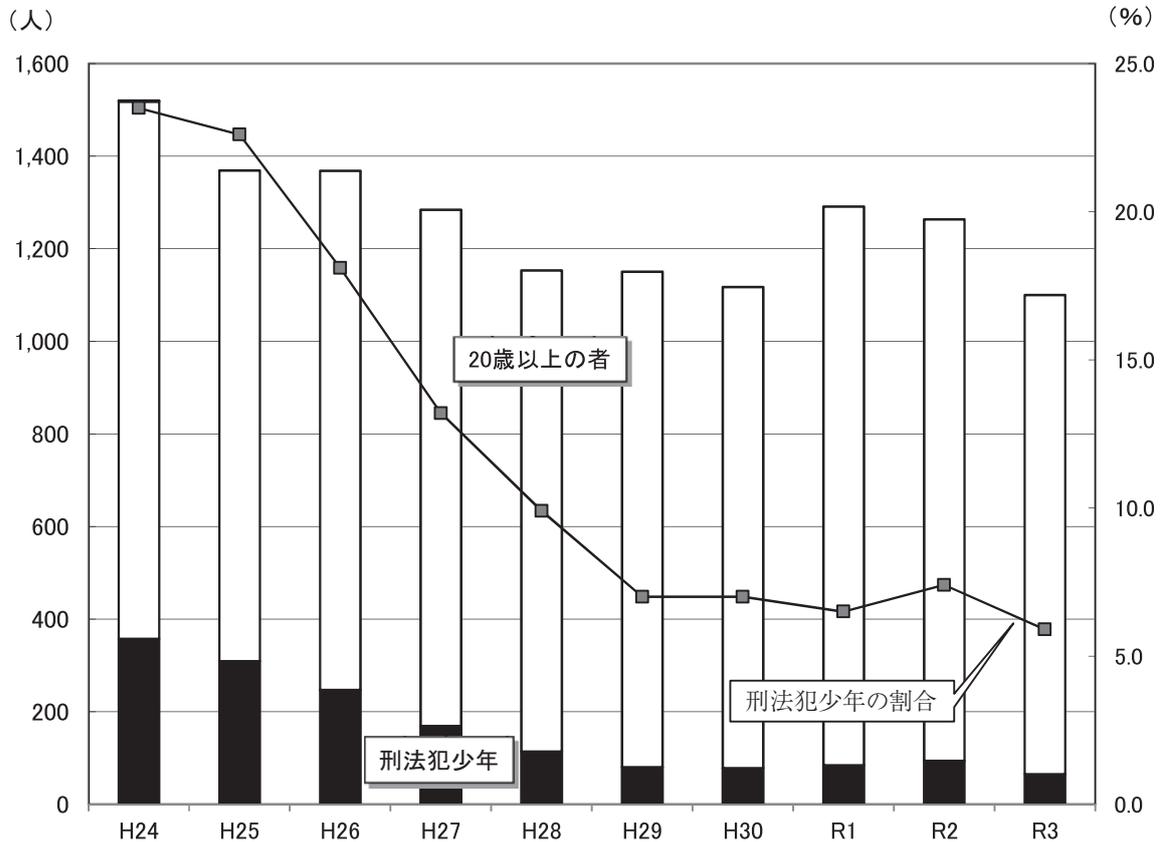
年		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
区分											
未	就学										
学 生 ・ 生 徒	小学生	30	26	26	26	22	28	17	15	20	14
	構成比(%)	6.2	6.2	8.0	11.1	12.9	21.1	15.6	11.5	14.5	14.3
	中学生	184	176	64	48	39	30	12	26	30	17
	構成比(%)	38.2	42.0	19.8	20.5	22.9	22.6	11.0	20.0	21.7	17.3
	高校生	148	121	121	81	47	28	38	40	32	34
	構成比(%)	30.7	28.9	37.3	34.6	27.6	21.1	34.9	30.8	23.2	34.7
	他学生	20	13	13	15	8	17	10	8	9	4
	構成比(%)	4.1	3.1	4.0	6.4	4.7	12.8	9.2	6.2	6.5	4.1
	有職少年	62	56	65	49	37	23	22	30	40	26
	構成比(%)	12.9	13.4	20.1	20.9	21.8	17.3	20.2	23.1	29.0	26.5
	無職少年	38	27	35	15	17	7	10	11	7	3
	構成比(%)	7.9	6.4	10.8	6.4	10.0	5.3	9.2	8.5	5.1	3.1
総	数	482	419	324	234	170	133	109	130	138	98

2 犯罪少年

(1) 刑法犯少年

ア 概況

令和3年の刑法犯少年の検挙人員は65人で、前年より29人（30.9%）減少した。

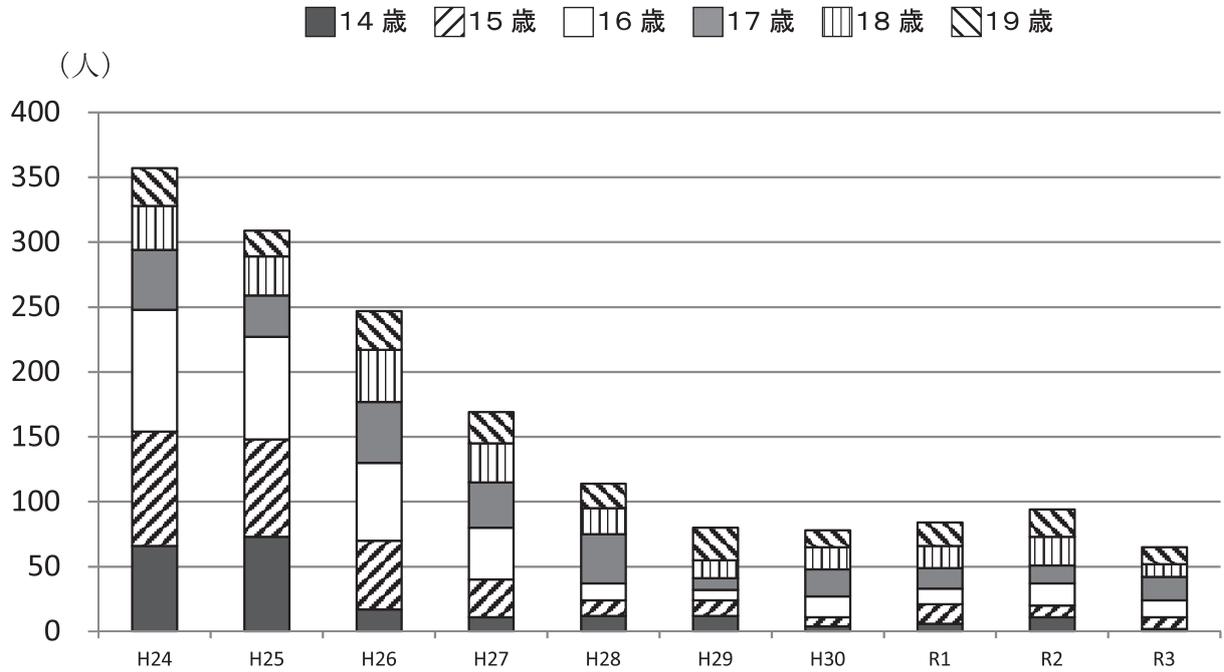


区分		年										
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
福 井 県	刑法犯少年	357	309	247	169	114	80	78	84	94	65	
	20歳以上の者	1,161	1,060	1,121	1,115	1,039	1,070	1,039	1,207	1,169	1,035	
	総数	1,518	1,369	1,368	1,284	1,153	1,150	1,117	1,291	1,263	1,100	
	刑法犯総検挙人員に占める刑法犯少年の割合 (%)	23.5	22.6	18.1	13.2	9.9	7.0	7.0	6.5	7.4	5.9	

イ 年齢別

過去10年間の刑法犯少年の年齢別構成の推移は、下表のとおりである。

令和3年の刑法犯少年の年齢別構成は、17歳が18人（構成比27.7%）で最も多く、次いで16歳、19歳が13人（構成比20.0%）であった。



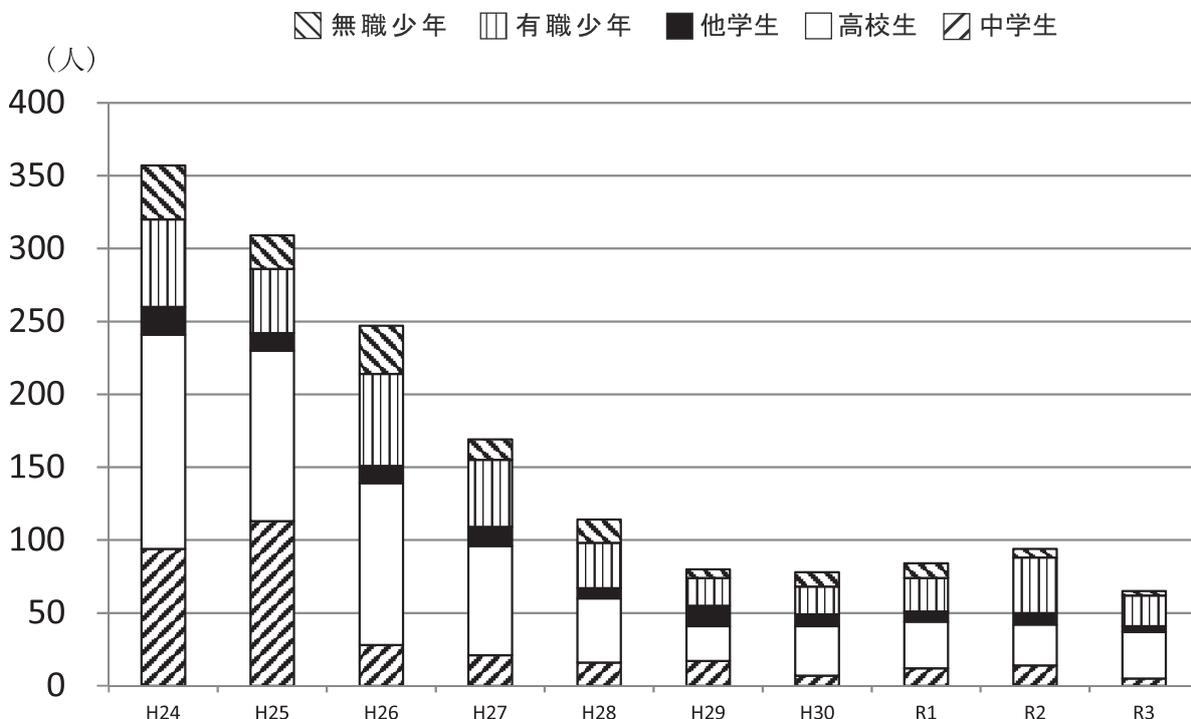
(人)

区分 \ 年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
14歳	66	73	17	11	12	12	4	6	11	2
構成比 (%)	18.5	23.6	6.9	6.5	10.5	15.0	5.1	7.1	11.7	3.1
15歳	88	75	53	29	12	12	7	15	9	9
構成比 (%)	24.6	24.3	21.5	17.2	10.5	15.0	9.0	17.9	9.6	13.8
16歳	94	79	60	40	13	8	16	12	17	13
構成比 (%)	26.3	25.6	24.3	23.7	11.4	10.0	20.5	14.3	18.1	20.0
17歳	46	32	47	35	38	9	21	16	14	18
構成比 (%)	12.9	10.4	19.0	20.7	33.3	11.3	26.9	19.0	14.9	27.7
18歳	34	30	40	30	20	14	17	17	22	10
構成比 (%)	9.5	9.7	16.2	17.8	17.5	17.5	21.8	20.2	23.4	15.4
19歳	29	20	30	24	19	25	13	18	21	13
構成比 (%)	8.1	6.5	12.1	14.2	16.7	31.3	16.7	21.4	22.3	20.0
総数	357	309	247	169	114	80	78	84	94	65

ウ 学職別

過去10年間の刑法犯少年の学職別構成の推移は、下表のとおりである。

令和3年の刑法犯少年の学職別構成は、高校生が32人(構成比49.2%)で最も多く、次いで、有職少年が21人(構成比32.3%)であった。



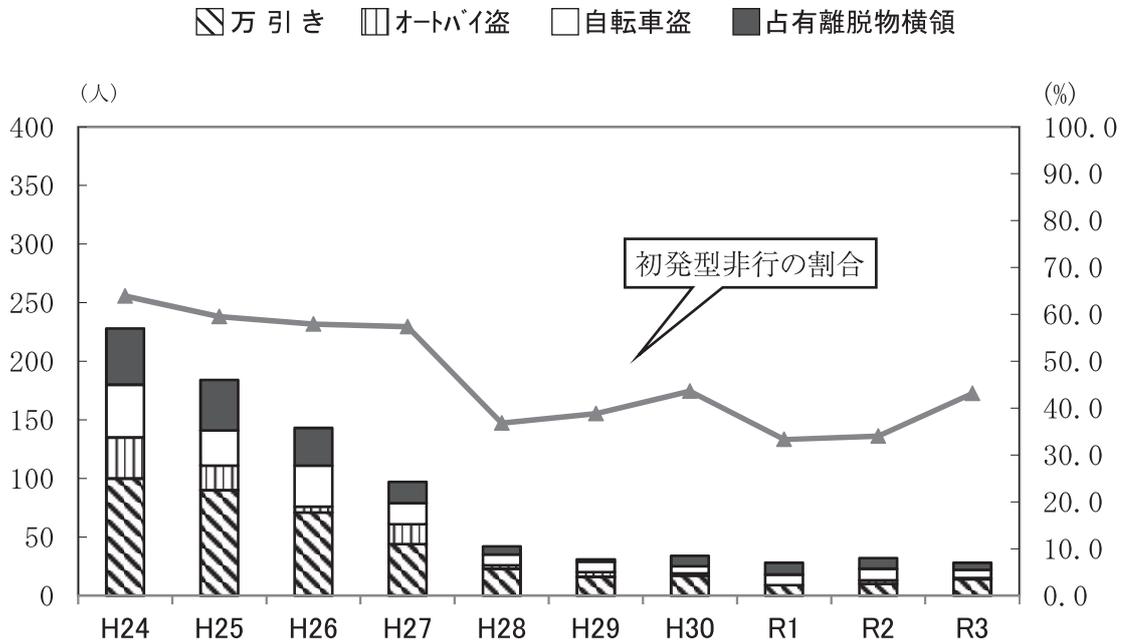
(人)

年		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
区分	中学生	94	113	28	21	16	17	7	12	14	5
	構成比(%)	26.3	36.6	11.3	12.4	14.0	21.3	9.0	14.3	14.9	7.7
	高校生	147	117	111	75	44	24	34	32	28	32
	構成比(%)	41.2	37.9	44.9	44.4	38.6	30.0	43.6	38.1	29.8	49.2
	他学生	19	12	12	13	7	14	8	7	8	4
構成比(%)	5.3	3.9	4.9	7.7	6.1	17.5	10.3	8.3	8.5	6.2	
有職少年		60	44	63	46	31	19	19	23	38	21
構成比(%)		16.8	14.2	25.5	27.2	27.2	23.8	24.4	27.4	40.4	32.3
無職少年		37	23	33	14	16	6	10	10	6	3
構成比(%)		10.4	7.4	13.4	8.3	14.0	7.5	12.8	11.9	6.4	4.6
総数		357	309	247	169	114	80	78	84	94	65

エ 初発型非行

過去10年間の初発型非行の検挙人員の推移は、下表のとおりである。

令和3年の初発型非行の検挙人員は28人で、前年より4人（12.5%）減少した。

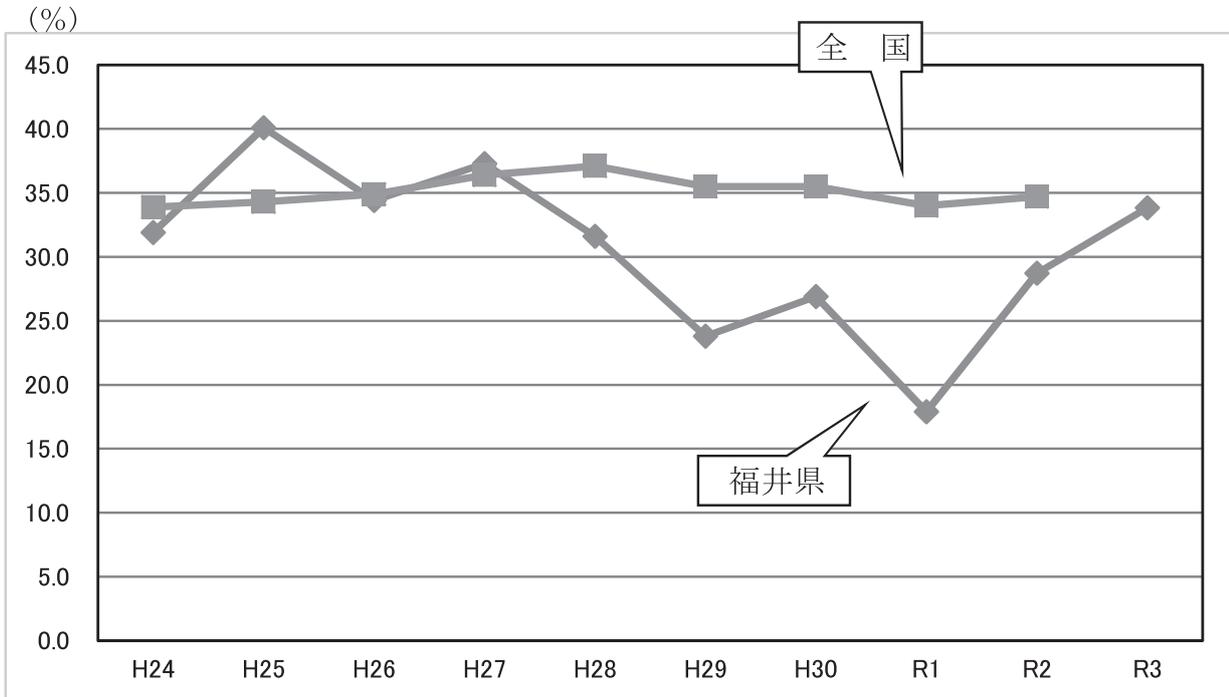


区分	年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
刑法犯少年		357	309	247	169	114	80	78	84	94	65
初発型非行		228	184	143	97	42	31	34	28	32	28
万引き		100	90	71	44	23	16	17	9	10	14
構成比 (%)		43.9	48.9	49.7	45.4	54.8	51.6	50.0	32.1	31.3	50.0
オートバイ盗		35	21	5	17	3	4	2	0	3	1
構成比 (%)		15.4	11.4	3.5	17.5	7.1	12.9	5.9	0.0	9.4	3.6
自転車盗		45	30	35	18	9	9	6	9	10	7
構成比 (%)		19.7	16.3	24.5	18.6	21.4	29.0	17.6	32.1	31.3	25.0
占有離脱物横領		48	43	32	18	7	2	9	10	9	6
構成比 (%)		21.1	23.4	22.4	18.6	16.7	6.5	26.5	35.7	28.1	21.4
刑法犯少年に占める初発型非行の割合 %		63.9	59.5	57.9	57.4	36.8	38.8	43.6	33.3	34.0	43.1

オ 再犯者率

過去10年間の刑法犯少年の再犯者率の推移は、下表のとおりである。

令和3年の刑法犯少年の再犯者率は33.8%で、前年の28.7%を5.1ポイント上回った。



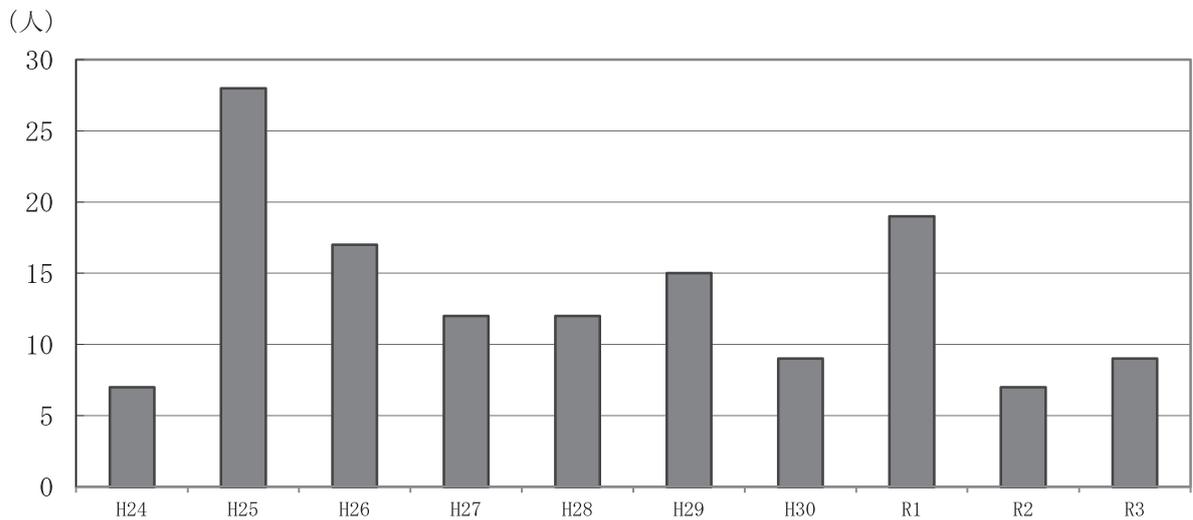
年	区分 刑法犯少年	再犯刑法犯少年				
		福井県				全国
		2回目	3回目	4回以上	再犯者率 (%)	再犯者率 (%)
H24	357	59	27	28	31.9	33.9
H25	309	59	33	32	40.1	34.3
H26	247	46	20	19	34.4	34.9
H27	169	32	16	15	37.3	36.4
H28	114	17	10	9	31.6	37.1
H29	80	12	2	5	23.8	35.5
H30	78	8	7	6	26.9	35.5
R1	84	9	3	3	17.9	34.0
R2	94	18	5	4	28.7	34.7
R3	65	7	11	4	33.8	

(2) 特別法犯少年

過去10年間の特別法犯少年の検挙人員の推移は、下表のとおりである。

令和3年の特別法犯少年の検挙人員は9人で、前年より2人（28.6%）増加した。

法令別では、軽犯罪法が1人、迷惑防止条例が3人、漁業法が2人、売春防止法、ストーカー規制法及び大麻取締法が各1人となっている。



(人)

法令別 \ 年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
軽 犯 罪 法	3	18	4	3		2	1	1		1
迷 惑 防 止 条 例	1	3	3	2	1	5	2	4	1	3
風 営 適 正 化 法		1			1			1		
青 少 年 愛 護 条 例		1	1	1		2				
銃 刀 法	1	1	3		2	1	1	1	2	
覚 せ い 剤 取 締 法		1	1			1				
毒 劇 法										
児 童 福 祉 法				1	1					
児 童 買 春 ・ 児 童 ポ ル ノ 法	1		1	5	2	3	2	6		
そ の 他	1	3	4		5	1	3	6	4	5
総 数	7	28	17	12	12	15	9	19	7	9

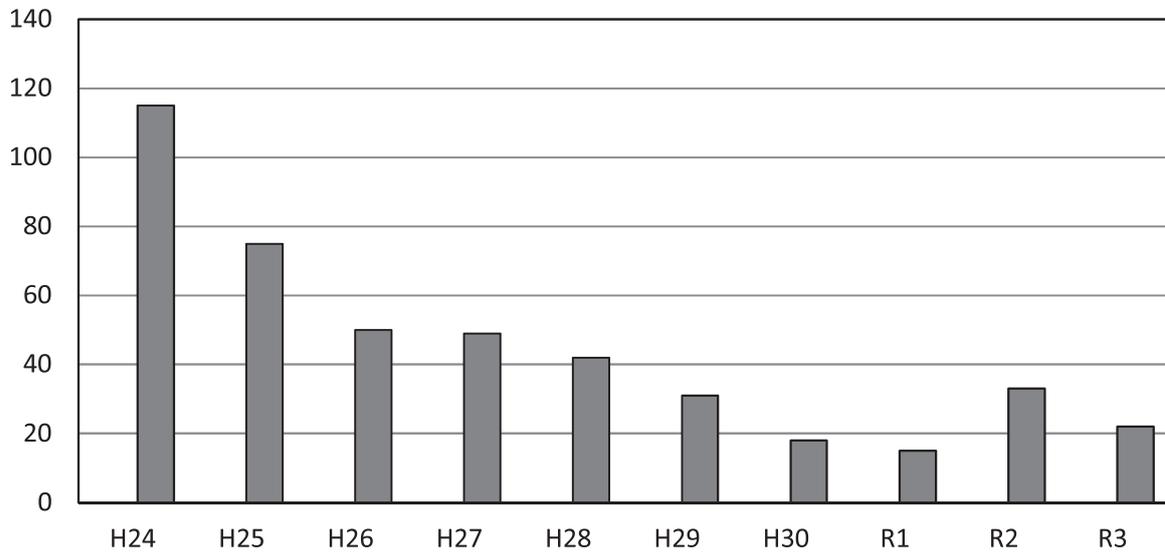
3 触法少年

(1) 触法少年（刑法）

過去10年間の触法少年（刑法）の補導人員の推移は、下表のとおりである。

令和3年の触法少年（刑法）の補導人員は22人で、前年より11人（33.3%）減少した。

(人)



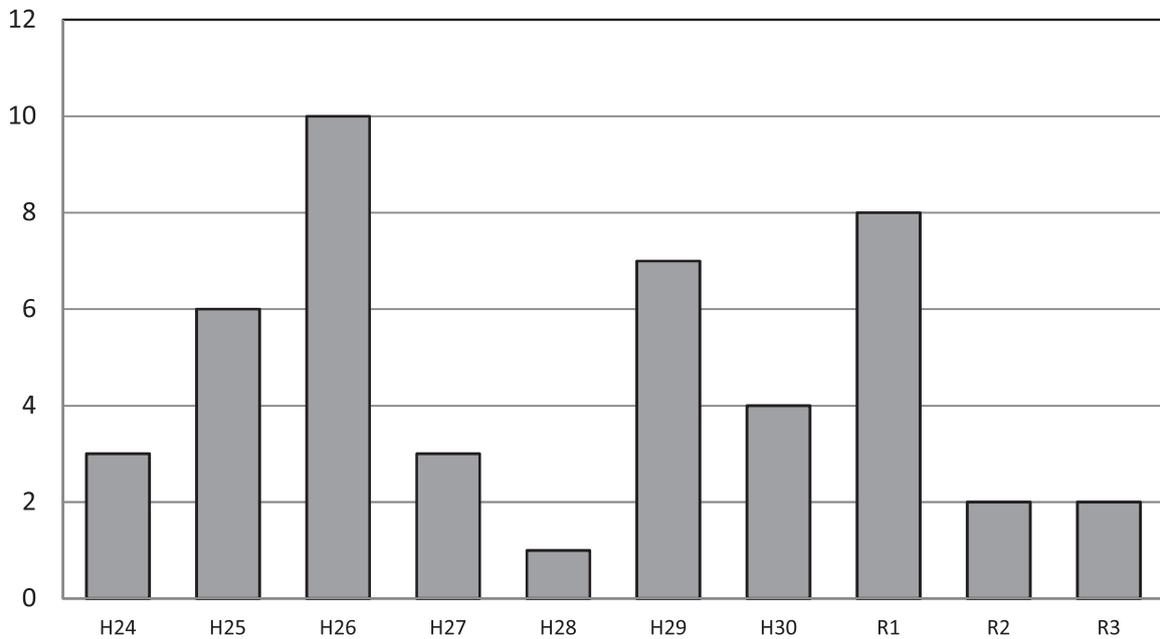
(人)

年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
凶悪犯					1					
粗暴犯	2	5	2	1	2	2	1	5		2
窃盗犯	87	56	37	39	30	25	13	8	28	13
知能犯						2				
風俗犯				1	1					2
その他	26	14	11	8	8	2	4	2	5	5
総数	115	75	50	49	42	31	18	15	33	22

(2) 触法少年（特別法）

過去10年間の触法少年（特別法）の補導人員の推移は、下表のとおりである。
令和3年の触法少年（特別法）の補導人員は2人で、前年と同数であった。

(人)



(人)

法令別 \ 年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
軽 犯 罪 法	2	6	10	2	1	5	4	7	2	2
迷惑防止条例				1		1		1		
風営適正化法										
青少年愛護条例										
銃 刀 法						1				
覚せい剤取締法										
毒 劇 法										
児 童 福 祉 法										
そ の 他	1									
総 数	3	6	10	3	1	7	4	8	2	2

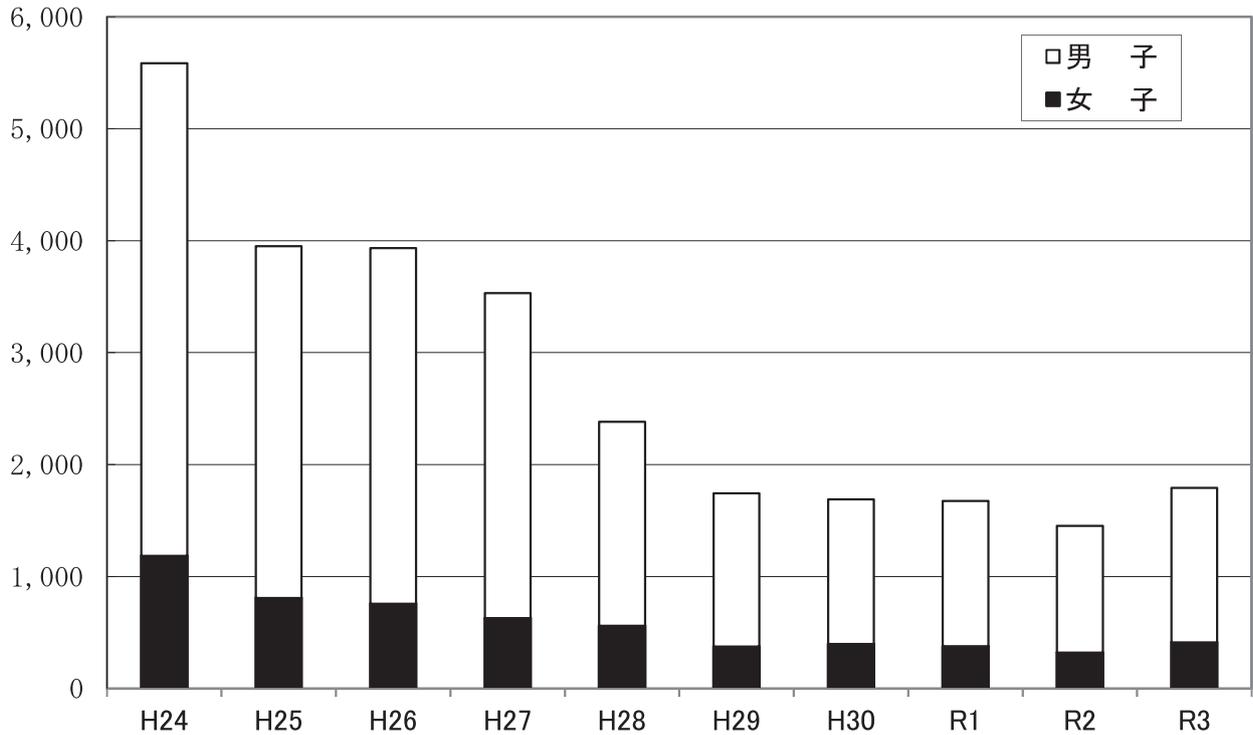
4 不良行為少年

(1) 概況

令和3年中の不良行為少年の補導人員は1,792人で、前年より340人(23.4%)増加した。

また、不良行為少年の男女別内訳は、男子が1,380人(前年比21.9%増)で、女子が412人(同28.8%増)であった。

(人)



(人)

区分 \ 年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
男子	4,401	3,141	3,177	2,903	1,822	1,369	1,294	1,296	1,132	1,380
(指数)	100.0	71.4	72.2	66.0	41.4	31.1	29.4	29.4	25.7	31.4
女子	1,184	809	757	629	561	374	396	378	320	412
(指数)	100.0	68.3	63.9	53.1	47.4	31.6	33.4	31.9	27.0	34.8
総数	5,585	3,950	3,934	3,532	2,383	1,743	1,690	1,674	1,452	1,792
(指数)	100.0	70.7	70.4	63.2	42.7	31.2	30.3	30.0	26.0	32.1

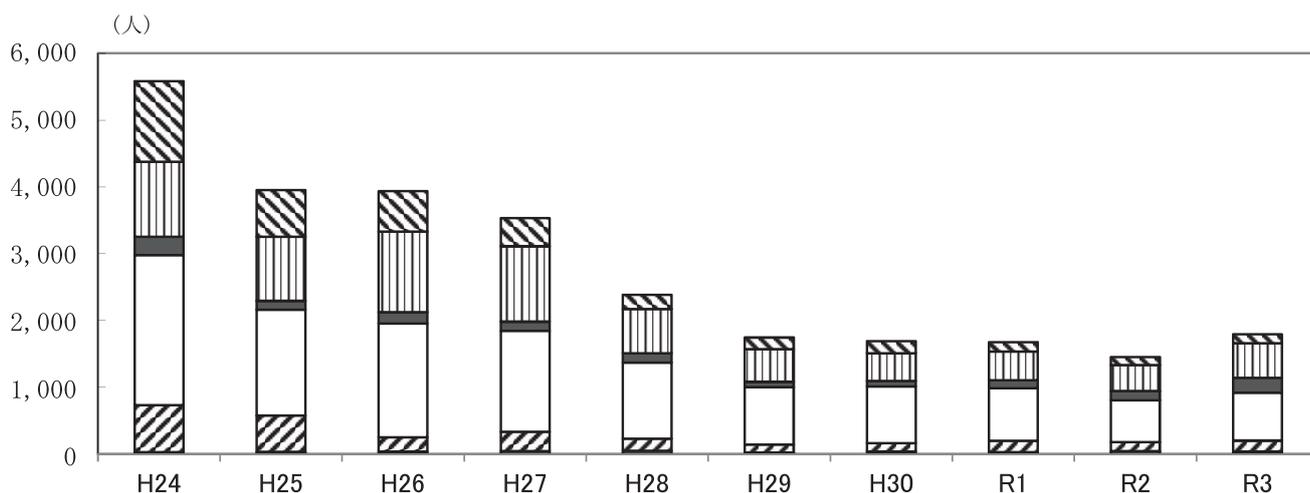
※：指数は平成24年を100とする。

(2) 学職別

過去10年間の不良行為少年の学職別構成の推移は、下表のとおりである。

令和3年中に補導された不良行為少年の学職別構成は、高校生が719人（構成比40.1%・前年比14.7%増）と最も多く、次いで有職少年が515人（構成比28.7%・前年比32.4%増）、他学生が222人（構成比12.4%・前年比62.0%増）であった。

■未就学 ■小学生 ▨中学生 □高校生 ■他学生 ▨有職少年 ▨無職少年



(人)

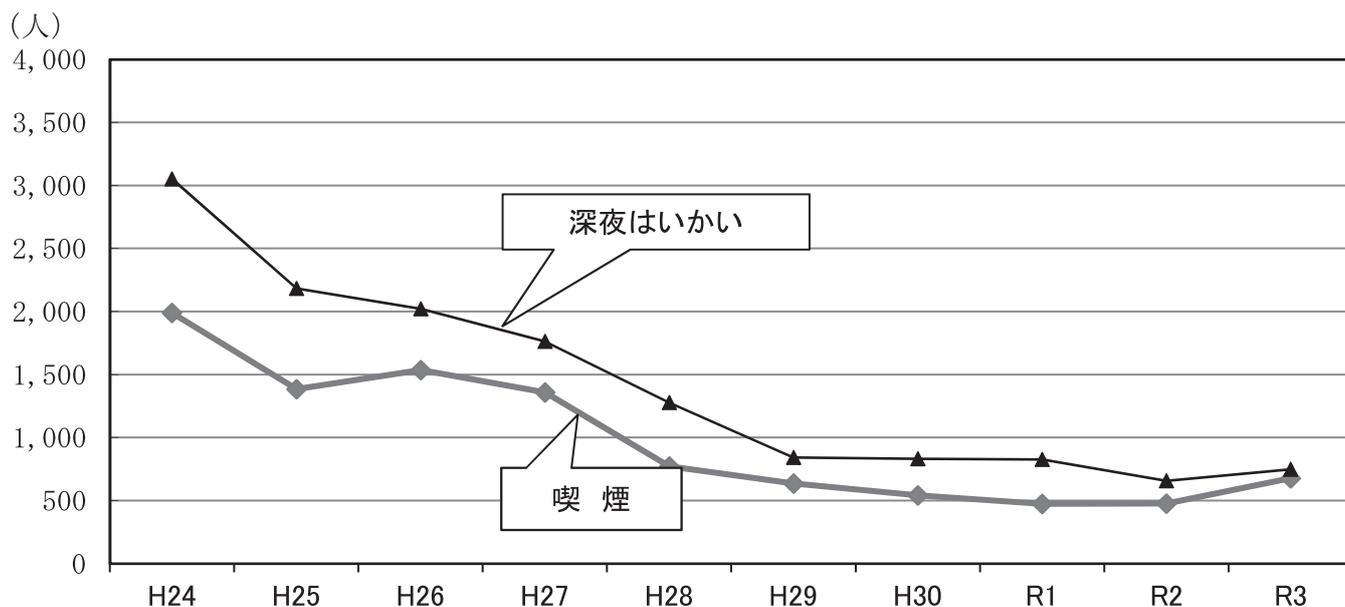
学職 \ 年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
未就学	1		3			1	2			
構成比 (%)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
小学生	25	30	31	44	49	21	35	25	41	34
構成比 (%)	0.4	0.8	0.8	1.2	2.1	1.2	2.1	1.5	2.8	1.9
中学生	705	545	216	287	180	120	124	174	136	166
構成比 (%)	12.6	13.8	5.5	8.1	7.6	6.9	7.3	10.4	9.4	9.3
高校生	2,245	1,586	1,703	1,512	1,139	860	850	787	627	719
構成比 (%)	40.2	40.2	43.3	42.8	47.8	49.3	50.3	47.0	43.2	40.1
他学生	275	131	168	138	140	78	80	118	137	222
構成比 (%)	4.9	3.3	4.3	3.9	5.9	4.5	4.7	7.0	9.4	12.4
有職少年	1,124	962	1,207	1,129	664	489	417	430	389	515
構成比 (%)	20.1	24.4	30.7	32.0	27.9	28.1	24.7	25.7	26.8	28.7
無職少年	1,210	696	606	422	211	174	182	140	122	136
構成比 (%)	21.7	17.6	15.4	11.9	8.9	10.0	10.8	8.4	8.4	7.6
総数	5,585	3,950	3,934	3,532	2,383	1,743	1,690	1,674	1,452	1,792

(3) 行為別

過去10年間の不良行為少年の行為別構成の推移は、下表のとおりであり、各年とも深夜はいかいと喫煙が多い。

令和3年中に補導された不良行為少年の行為別人員数を見ると、深夜はいかいが747人（前年比13.7%増）、喫煙が678人（前年比42.1%増）と多い。

また、深夜はいかいと喫煙の合計は1,425人で全体の79.5%を占めた。



行為別	年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
飲酒		69	56	90	68	70	56	75	96	105	90
喫煙		1,989	1,385	1,536	1,357	771	635	542	474	477	678
薬物乱用			1	2	1				2	1	2
粗暴行為		128	121	93	122	85	62	77	108	80	122
刃物等所持		4		2	3	1	1	3	1	1	1
金品不正要求		3	4	9	4	2		6	6	3	1
金品持出し		7	8	8	6	10	7	9	7	11	16
性的いたづら		1	1		2		1	2	3	3	1
暴走行為		64	40	20	34	11	8	11	12	9	13
家出		58	56	41	64	79	68	89	77	61	70
無断外泊		2	5	13	8	9	9	8	17	4	13
深夜はいかい		3,052	2,182	2,020	1,763	1,277	841	832	825	657	747
怠学		84	44	31	25	11	16	12	21	14	21
不健全性的行為		5	4	11	33	17	18	11	16	18	13
不良交友		103	33	48	20	32	8	6	2	4	
不健全娯楽		16	10	10	22	8	13	7	7	4	4
その他											
総数		5,585	3,950	3,934	3,532	2,383	1,743	1,690	1,674	1,452	1,792

第2 児童虐待事案

令和3年の児童虐待事案の認知対応件数は547件で、前年より8件（1.4%）減少し、児童相談所へ通告した児童数は608人で、前年より70人（10.3%）減少した。

		H30	R1	R2	R3	増減
児童通告	認知対応件数	193	372	555	547	-8
	人員数	238	418	678	608	-70
	身体的	29	46	73	60	-13
	性的	0	0	4	4	±0
	初々外	33	28	31	26	-5
	心理的	176	344	570	518	-52
	うち面前DV	159	295	436	346	-90
情報照会	件数	27	53	145	188	+43
援助要請	件数	7	5	4	0	-4
検挙	件数	16	47	59	33	-26

※ 児童虐待とは、保護者がその監護する児童（18歳未満の者）に対し、身体的虐待、性的虐待、怠慢又は拒否及び心理的虐待をすることをいう。

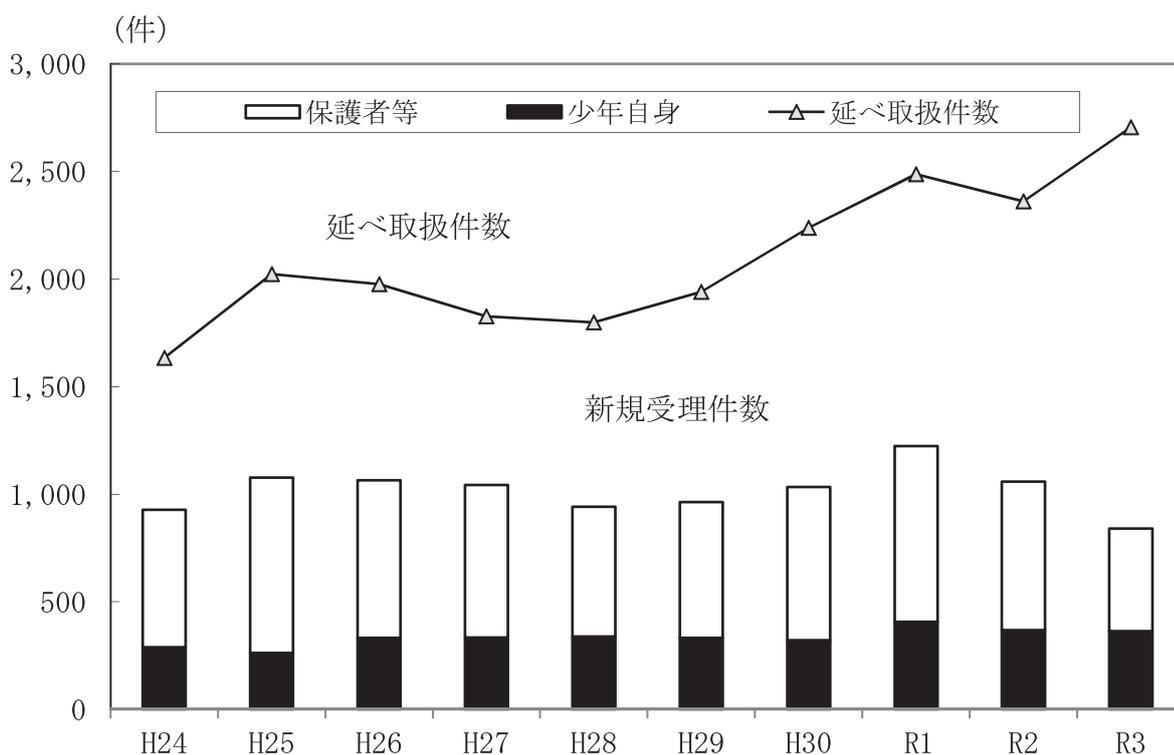
第3 少年相談

1 概況

過去10年間の少年相談の推移は、下記のとおりである。

令和3年中の新規受理件数は1,075件で前年より16件(1.5%)増加している。新規受理件数の内訳は、少年からの相談が364件(33.9%)、保護者等からの相談が477件(44.4%)となっている。

また、少年相談の延べ取扱い件数は、2,706件で前年より344件(14.6%)増加した。



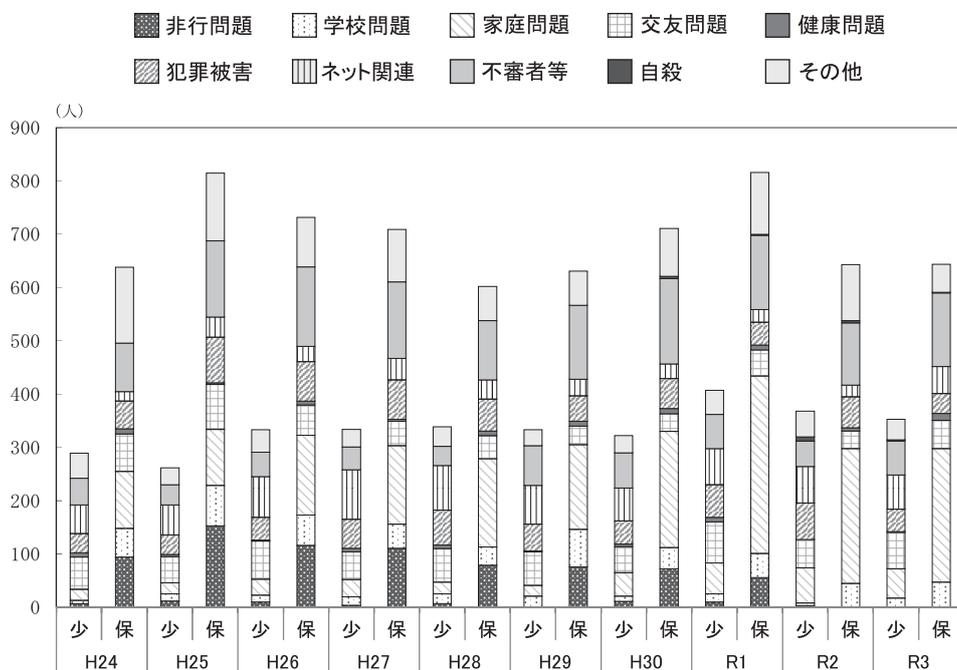
(件)

相談者別 \ 年別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
新規受理件数	927	1,077	1,065	1,043	941	964	1,033	1,223	1,059	1,075
少年自身	289	262	333	334	339	333	322	407	368	364
保護者等	638	815	732	709	602	631	711	816	691	477
延べ取扱い件数	1,633	2,023	1,976	1,827	1,799	1,940	2,238	2,488	2,362	2,706

* 延べ取扱い件数とは、一つの案件について継続して相談を受けた場合に、そのすべてを計上した数をいう。

2 相談内容別

令和3年中の相談の内容別構成は、少年自身からの相談では、「交友問題」が69件（構成比19.0%）、保護者等からの相談では、「家庭問題」が251件（構成比35.3%）と最も多くなっている。



学職	年		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3	
	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保	少	保
非行問題	7	94	12	153	10	116	4	111	7	79		76	11	72	10	56	3	48	11	67		
構成比(%)	2.4	14.7	4.6	18.8	3.0	15.8	1.2	15.7	2.1	13.1	0.0	12.0	3.4	10.1	2.5	6.9	0.8	6.9	3.0	9.4		
学校問題	6	54	13	76	13	57	16	45	18	34	21	70	10	40	15	45	5	45	17	47		
構成比(%)	2.1	8.5	5.0	9.3	3.9	7.8	4.8	6.3	5.3	5.6	6.3	11.1	3.1	5.6	3.7	5.5	1.4	6.5	4.7	6.6		
家庭問題	21	107	21	105	30	150	32	147	22	166	20	159	44	218	58	333	66	253	55	251		
構成比(%)	7.3	16.8	8.0	12.9	9.0	20.5	9.6	20.7	6.5	27.6	6.0	25.2	13.7	30.7	14.3	40.8	17.9	36.6	15.1	35.3		
交友問題	60	70	49	84	71	57	52	46	63	43	63	35	49	33	77	49	53	33	69	53		
構成比(%)	20.8	11.0	18.7	10.3	21.3	7.8	15.6	6.5	18.6	7.1	18.9	5.5	15.2	4.6	18.9	6.0	14.4	4.8	19.0	7.5		
健康問題	8	10	4	3	2	7	7	4	7	9	2	9	5	10	9	9		6	1	13		
構成比(%)	2.8	1.6	1.5	0.4	0.6	1.0	2.1	0.6	2.1	1.5	0.6	1.4	1.6	1.4	2.2	1.1	0.0	0.9	0.3	1.8		
犯罪被害	36	52	37	86	43	74	54	74	65	60	50	48	43	56	61	43	69	58	42	37		
構成比(%)	12.5	8.2	14.1	10.6	12.9	10.1	16.2	10.4	19.2	10.0	15.0	7.6	13.4	7.9	15.0	5.3	18.8	8.4	11.5	5.2		
ネット関連	54	18	56	38	76	29	93	40	84	36	73	31	62	28	68	24	68	22	64	51		
構成比(%)	18.7	2.8	21.4	4.7	22.8	4.0	27.8	5.6	24.8	6.0	21.9	4.9	19.3	3.9	16.7	2.9	18.5	3.2	17.6	7.2		
不審者等	50	91	38	143	46	149	43	144	36	111	74	139	66	160	64	139	48	117	64	138		
構成比(%)	17.3	14.3	14.5	17.5	13.8	20.4	12.9	20.3	10.6	18.4	22.2	22.0	20.5	22.5	15.7	17.0	13.0	16.9	17.6	19.4		
自殺															4	2	8	4	2	1		
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.2	2.2	0.6	0.5	0.1	
その他	47	142	32	127	42	93	33	98	37	64	30	64	32	90	45	116	48	105	39	53		
構成比(%)	16.3	22.3	12.2	15.6	12.6	12.7	9.9	13.8	10.9	10.6	9.0	10.1	9.9	12.7	11.1	14.2	13.0	15.2	10.7	7.5		
総数	289	638	262	815	333	732	334	709	339	602	333	631	322	711	407	816	368	691	364	711		
	1,077		1,065		1,043		941		964		1,033		1,223		1,059		1,059		1,075			

※「少」は少年自身、「保」は保護者等をいう。

3 立ち直り支援活動

令和3年中に実施した立ち直り支援活動の対象少年数は、44人であった。

種別では、犯罪被害が20人（構成比45.5%）と最も多く、家出・無断外泊、児童虐待がそれぞれ4人（構成比9.1%）でそれに次いでいる。

(人)

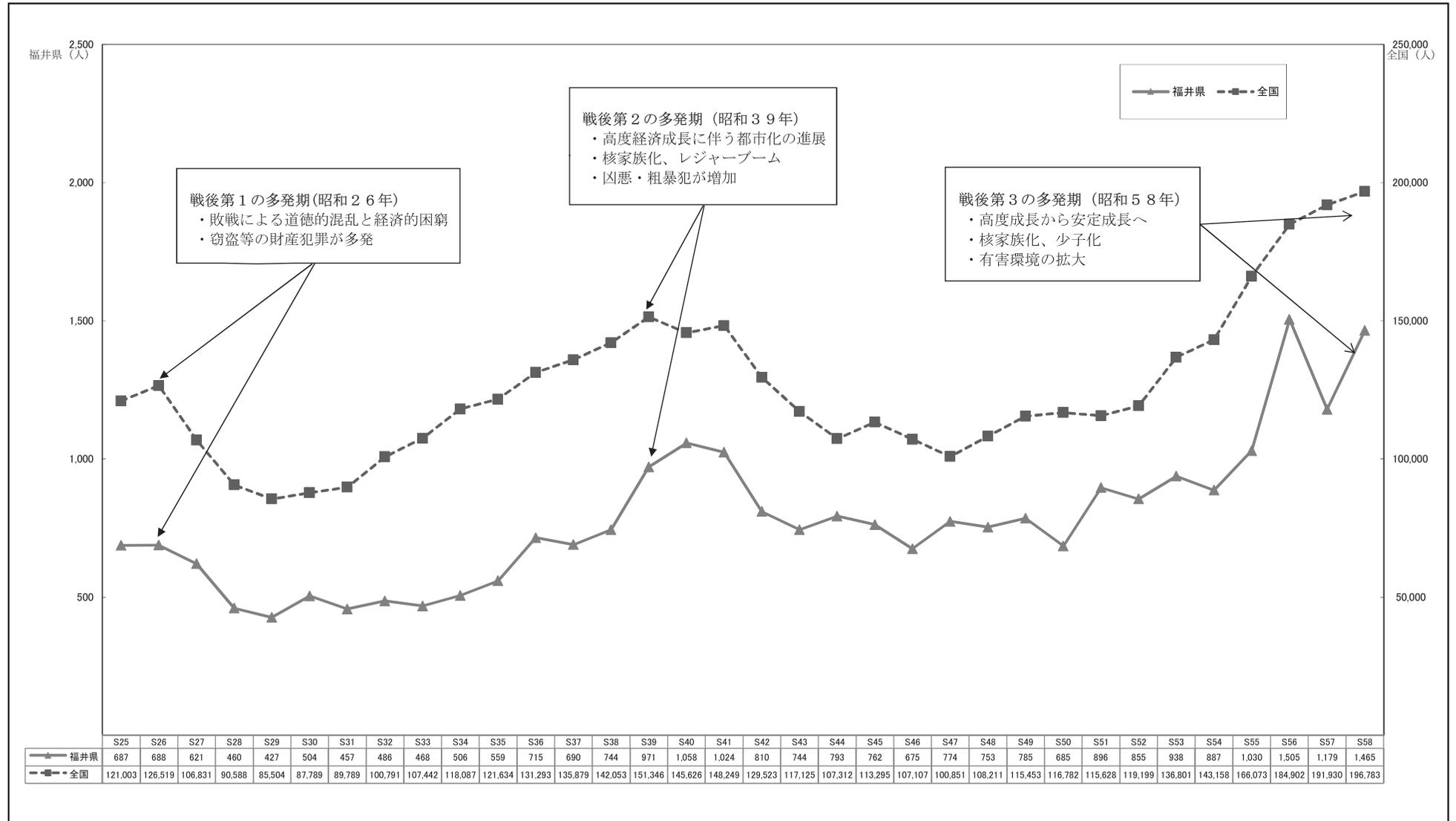
種別	非行問題等				学校問題		家庭問題		交友問題		犯罪被害	その他	計
	窃盗	性の逸脱行為	家出・無断外泊	不良行為	不登校	いじめ	児童虐待	家庭その他	異性交遊	交友その他			
学職													
未就学											6(6)		6 (6)
小学生				1							1(1)		2 (1)
中学生		1(1)		1	1		2(2)	1(1)	3(3)		7(6)		16 (13)
高校生	2(1)	2	2(2)	1(1)	1(1)		1(1)				5(5)	2	16 (11)
大学生											1(1)		1 (1)
他学生			1(1)				1(1)						2 (2)
無職少年			1(1)										1 (1)
計	2(1)	3(1)	4(4)	3(1)	2(1)		4(4)	1(1)	3(3)		20(19)	2	44 (35)
うち前年繰越	2(1)	3(1)	2(2)	3(1)	1		4(4)		2(2)		10(9)		27 (20)

注) 表中の()内は女子の内数を示す。

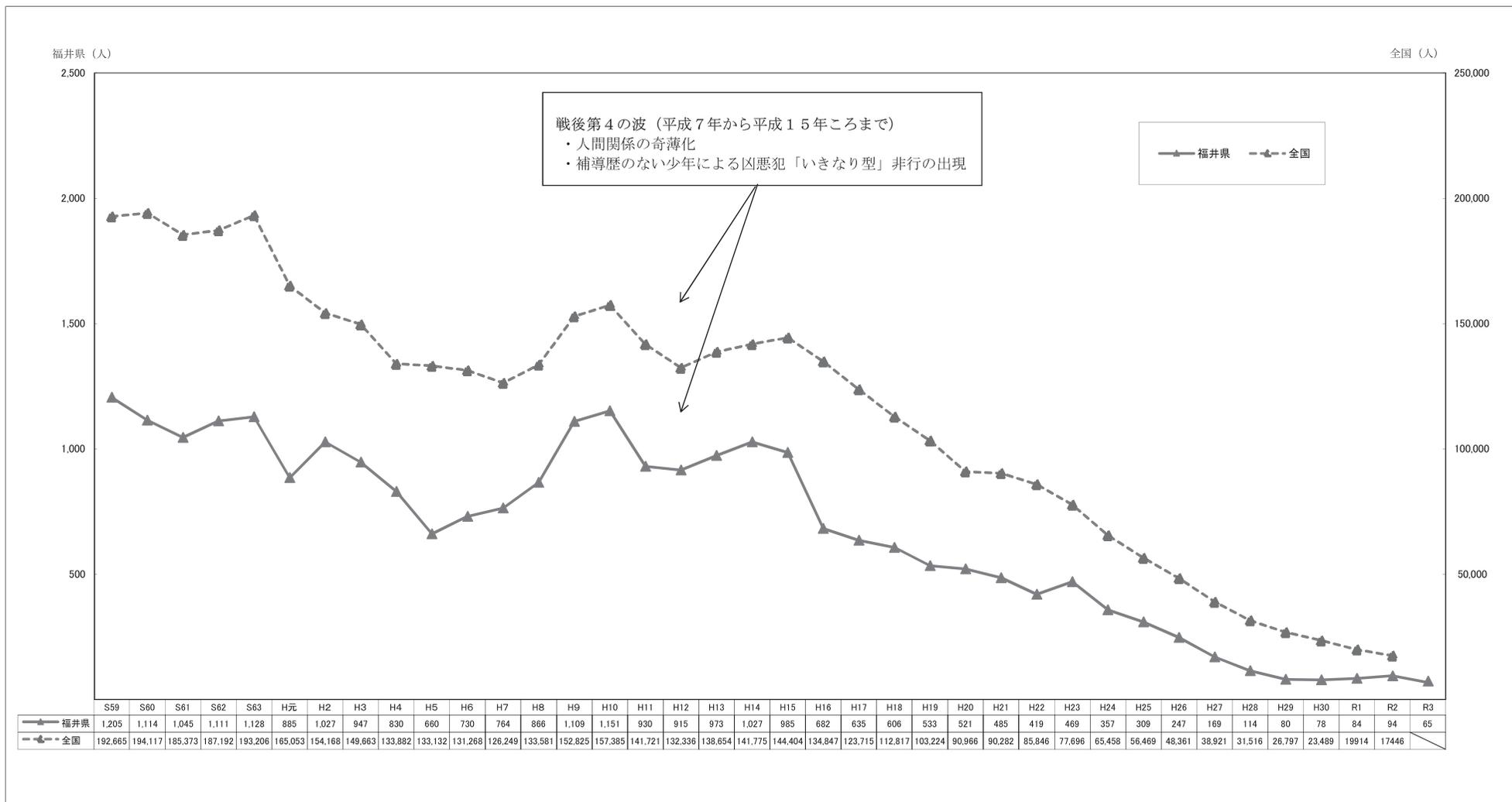
*立ち直り支援活動とは、少年相談活動、街頭補導活動等の警察活動を行う過程において、保護者等から少年の非行問題等の解決あるいは犯罪等の被害によるダメージからの回復のための援助依頼を受けたサポーターが、当該少年及び保護者等の関係者に対し、専門的見地からの助言及び指導、ボランティア等の協力による体験活動等を行いながら当該少年の立ち直りを図っていく継続的な支援活動をいう。

付表1 刑法犯少年の推移

(1) 昭和25年から昭和58年まで



(2) 昭和59年から令和3年まで



付表 2

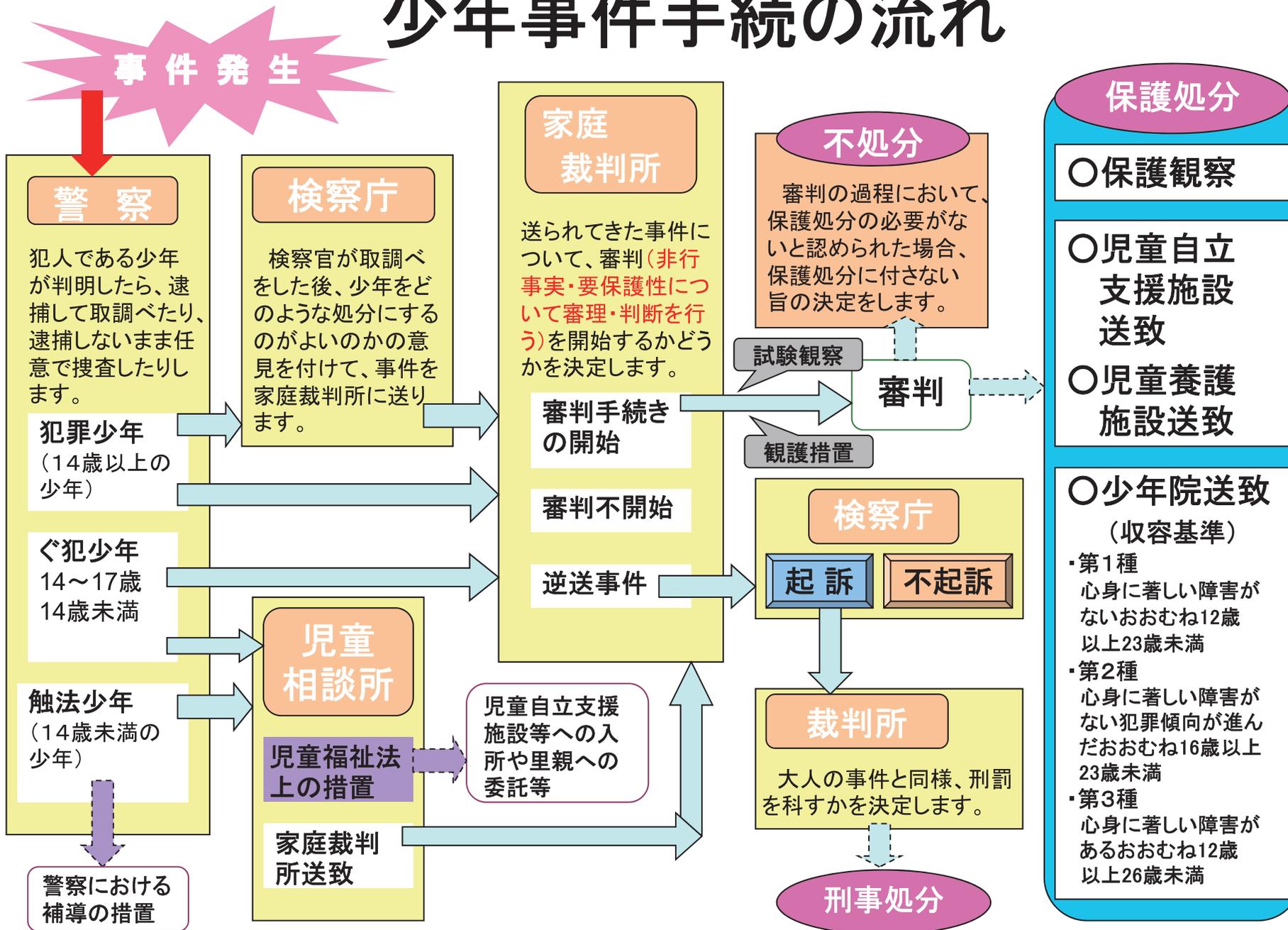
不良行為少年 行為種別（学職・年齢別）補導状況

補導日： 令和3年1月1日 ~ 令和3年12月31日

行為種別	学職・年齢		学 職 別							年 令 別																	総 数	前 年 同 期	増 減
	未 就 学	学 生	学 生 ・ 生 徒					有 職 少 年	無 職 少 年	8 歳 以 下	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	18 歳	19 歳								
			小 学 生	中 学 生	高 校 生	大 学 生	各 学 校 種 生															小 計							
飲 酒			13	30	10	53	29	8								1	7	4	44	34	90	105	- 15						
うち女子			1	3	3	7	8	2							1	1		9	7	17	34	- 17							
喫 煙			5	86	77	244	360	74							4	13	58	72	197	334	678	477	+ 201						
うち女子			1	14	10	25	52	22							1	2	4	14	32	46	99	41	+ 58						
薬 物 乱 用							2											1	1		2	1	+ 1						
うち女子																					1	1	- 1						
粗 暴 行 為		15	34	43	7	2	101	15	6	2	2	6	1	5	11	15	20	26	6	20	8	122	80	+ 42					
うち女子		2	3	3	2	2	12	2	1			2		1	1	2	1	1	1	7	15	10	+ 5						
刃物等所持									1												1	1	1						
うち女子									1												1	1	+ 1						
金品不正要求			1			1								1							1	3	- 2						
うち女子																													
金品持ち出し		6	7	2		1	16			2		1	2	3	1	2	3			2	16	11	+ 5						
うち女子		1	1			1	3			1				1						1	3	1	+ 2						
性的いたづら				1			1									1					1	3	- 2						
うち女子																													
暴 走 行 為				6			6	5	2							2	1	3	6	1	13	9	+ 4						
うち女子								1										1			1		+ 1						
家 出		5	24	35		2	66	1	3	2	1	1	1	3	5	13	13	6	13	10	2	70	61	+ 9					
うち女子		2	11	20		2	35		1	1			2	2	4	8	2	9	6	1	36	33	+ 3						
無 断 外 泊			2	6		1	9	2	2						2	1	4	2	3	1	13	4	+ 9						
うち女子			2	4		1	7		1						2	1	2	1	1		8	2	+ 6						
深夜はいかい		6	77	509	9	7	608	99	40			2	8	22	30	72	174	267	139	33	747	657	+ 90						
うち女子		2	23	151	1	4	181	19	13			2	2	7	9	27	57	80	24	7	213	176	+ 37						
怠 学		2	8	11			21				2			2	5	4	4	3	1		21	14	+ 7						
うち女子		1	2	7			10			1					2	3	2	2			10	5	+ 5						
不健全性的行為			4	7			11	2							1	2	1	2	5	1	13	18	- 5						
うち女子			4	2			6								1	2	1	2			6	12	- 6						
不 良 交 友																						4	- 4						
うち女子																					2	- 2							
不健全娯楽			4				4					1		1	2						4	4							
うち女子			3				3					1		1	2						3	3							
そ の 他																													
うち女子																													
総 数		34	166	719	123	99	1141	515	136	6	5	8	6	20	43	74	133	282	376	424	415	1,792	1452	+ 340					
うち女子		8	50	202	6	23	289	82	41	2	1	3	5	12	21	47	68	109	81	63	412	320	+ 92						
前年同期		41	136	627	90	47	941	389	122	9	9	5	7	24	39	59	117	245	310	365	263	1,452							
うち女子		16	49	158	10	9	242	51	27	2	2	1	3	18	16	17	25	50	85	63	38	320							
増 減		- 7	+ 30	+ 92	+ 33	+ 52	+ 200	+ 126	+ 14	- 3	- 4	+ 3	- 1	- 4	+ 4	+ 15	+ 16	+ 37	+ 66	+ 59	+ 152	+ 340							
うち女子		- 8	+ 1	+ 44	- 4	+ 14	+ 47	+ 31	+ 14		- 1	+ 2	- 3	- 13	- 4	+ 4	+ 22	+ 18	+ 24	+ 18	+ 25	+ 92							

付表3

少年事件手続の流れ



付表4

特定少年の手続きについて



事件発生

改正少年法における改正箇所

- ①全件検察官を経由して家裁に送致
 - ②逆送対象の拡大
 - ③犯情の軽重を考慮して相当な限度を超えない範囲内における処分
- ※ぐ犯少年に係る家裁への送致(通告)の対象外

